

ISS actcoin project

中高生の視点から考える

actcoin・社会貢献活動のあり方とは？



-ISS actcoin プロジェクトとは-

概要

ISS actcoin Projectは、ISSと日本コムシク株式会社による協働プロジェクトである。ソーシャルアクション（以下、SA）すなわち社会貢献活動の履歴を、デジタルポイント（以下、コイン）として可視化するアプリ「actcoin」を活用し、学校および生徒個人が行ったSAを記録していく。

本プロジェクトは、本校の生徒が学内で実施したSAプロジェクトによって獲得したactcoinの総コイン数が、チームごとに設定された目標値に到達すると、非営利法人への寄付につながる仕組みを有している。このように、個々の行動を社会的価値へと転換することで、「新しい社会的価値の創出」を図ることを目的としたプロジェクトである。

活動目的

SAを「難しい活動」から「誰でも一歩踏み出せる活動」へ変えること
私たちは、学校の Social Action (SA) を活性化させることを目的とした actcoin Projectのメンバーとして活動した。SAを「一部の人が行う特別な活動」ではなく、「誰もが参加できる身近な行動」にすることを目標に、SA イベントの企画・運営や、actcoin を活用した参加の可視化に取り組んだ。活動を進めるうえで特に大切にしたのは、参加者の立場に立って考えること、チーム内での意見共有である。企画を一方向的に進めるのではなく、「中高生にとって参加しやすいか」「行動につながるか」を常に意識しながら活動した。

活動内容

SA イベントの企画・運営
actcoin を活用した参加の可視化
生徒主体の寄付・啓発活動

メンバー構成

5年生: 6人
4年生: 2人
3年生: 2人
2年生: 2人
1年生: 2人 計14名

ISS actcoin project



-actcoinから得たもの-

○自分の興味関心の発見・協働スキルについて

この活動を通して、私たちは多くの学びと成長を得た。まず、私たちは参加者の立場に立って物事を考える力を身につけた。SAを「誰でも一歩踏み出せる活動」にするために、「中高生にとって参加しやすいか」「行動につながるか」を常に意識しながら企画・運営を行った。例えば、年間を通してSocial Actionに触れる機会を増やすために「Social Action Week」を実施し、寄付活動や映像を用いた企画など、身近な形で参加できる取り組みを行った。その結果、一部の人のための活動ではなく、多くの人が無理なく関われる形を考える視点を得ることができた。

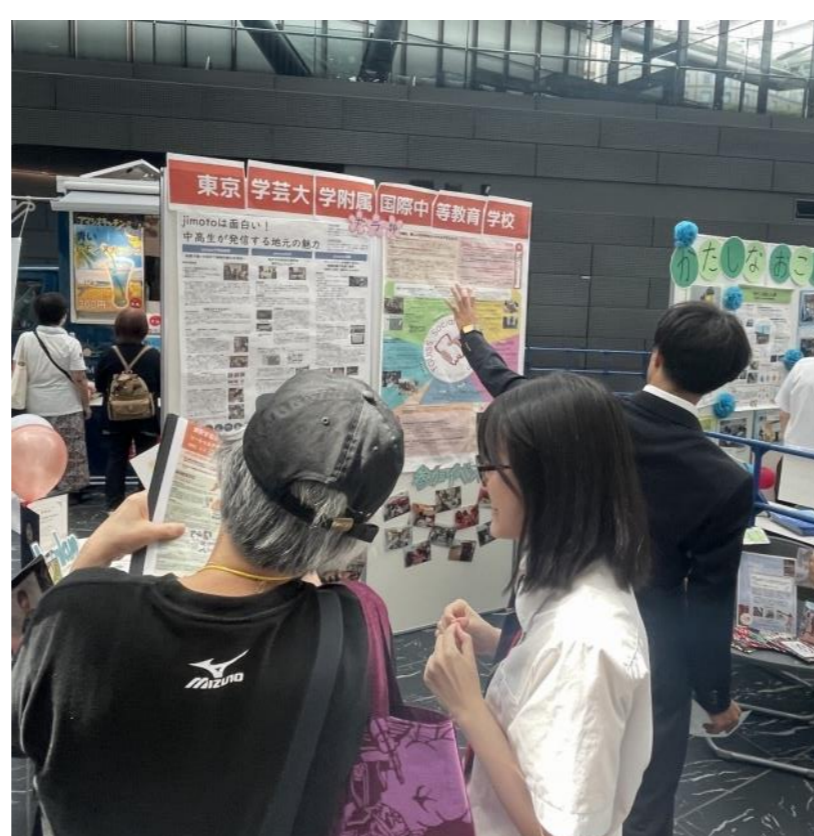
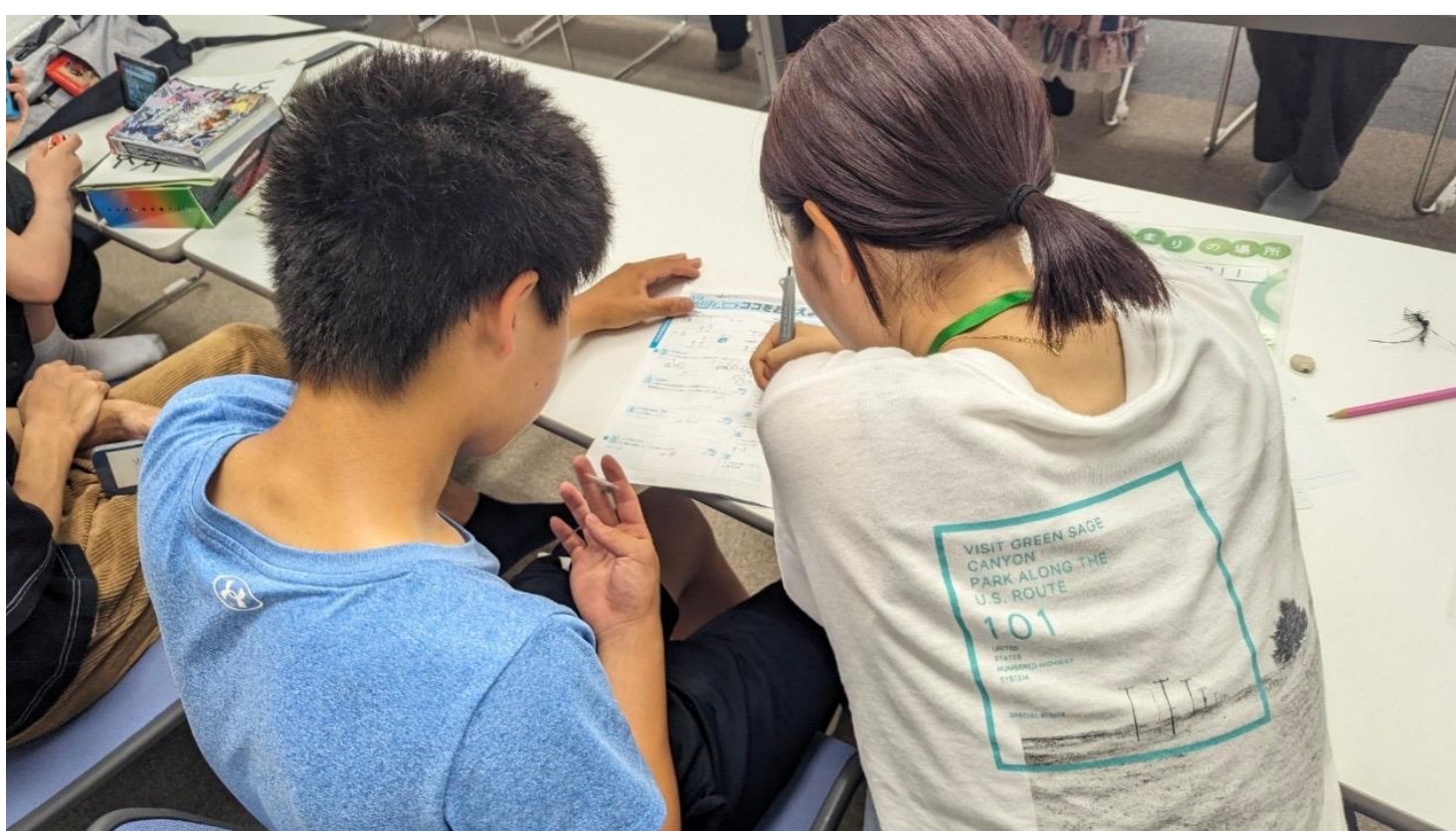
次に、私たちは企画力および運営力の向上を実感した。SAイベントの企画から実施、actcoinを用いた活動の記録と可視化までを一貫して行う中で、計画を立て、実行し、振り返るという一連のプロセスを経験した。この経験は、課題解決に向けて主体的に行動する力の育成につながった。

そして、協働する力の重要性を学んだ。活動を進めるにあたり、チーム内での意見共有を重視し、互いの考えを尊重しながら一つの目標に向かって取り組んだことで、協働によってより良い成果が生まれることを実感した。

さらに、私たちは自らの行動が社会的価値へとつながると意識を得た。個々のSAがactcoinとして可視化され、一定の成果が寄付につながる仕組みを通して、私たちの行動が社会に影響を与えていることを具体的に理解することができた。

自分の好きなものは何か、興味があることは何かを探究する上で使用した。自分の考えを組み立てるとき、まず手当たり次第情報を取り込んだ。取り込むためには様々な種類のボランティアに参加し、参加する意義や本質を自分に問うことができた。また協働スキルを使用し、他者の見解や考えに積極的に耳を傾け、自分が判断するときの判断材料にまで持ち込むことができた。

この活動は私たちにとって、協働力・企画運営力・社会への当事者意識を高める貴重な学びの機会であり、自己成長にとどまらず周りを巻き込んだアプローチ方法を考える方法を教えてくれた。



-過去に実施した活動-

○ISS Social Action Week2025 の開催

ISS Cinema vol.2
『グリーンライ エコの嘘』
上映会

「環境に優しい」商品のヤバイ現実

THE GREEN LIE
グリーンライ エコの嘘

WORLD ENVIRONMENT DAY

6月11日(水) 15:45上映開始 @総合メディアセンター

actcoin 付与対象

世界環境デーとは
1972年にストックホルムで開催された「国連人間開発会議」を記念して定められた毎年6月5日を「世界環境デー」として、この日を含む6月を「環境月」としているのです！
そこで、ISSでは「環境に優しい」や「エコ」といった耳慣れのない言葉に隠された複雑な真実を迫るドキュメンタリー映画の上映会を実施します。
映画の鑑賞をきっかけにActionの一歩を踏み出しませんか？

毎年2回ほどSocial Actionに取り組む機会を増やすために「Social Action week (SAW)」を開催している。2025年度第1回のSAWは6月9日から6月13日。学校内のボランティア団体やボランティア部 (Social Action Team) 等が、様々なイベントを実施した。
文房具寄付では小学生の時に買った鉛筆やノート、子供の時に集めた可愛い消しゴムなど、使わないけど捨てられない文房具を募集し、集めた文房具はアジアの子供たちの手に届くよう発送した。
またISS Cinema vol.2では「グリーンライ エコの嘘」を生徒向けに上映した。世界環境デーの近くで開催するなど、イベントにも紐づけて行うことができた。

ISS生限定 文房具寄付 Social Action Week

買ったけど使わない！そんな文房具を募集します！
例：鉛筆、消しゴム、ノート、ホッチキス
※再利用が難しいもの、破損・汚損のあるものは受けません。

対象期間：6/9～6/13の昼休み (12:40～12:55)
場所：N棟1階

○第2回Chiritsumo 2024

ISS actcoin project 第2回Chiritsumo

第2回寄付キャンペーン「Chiritsumo」では、全校生徒での投票を通して、3つの団体に寄付ができることになった。3つの団体を挙げて、生徒の投票で一番多かった団体に2万円、その他の2つの団体には1万円ずつ寄付できるといった仕組みを取った。

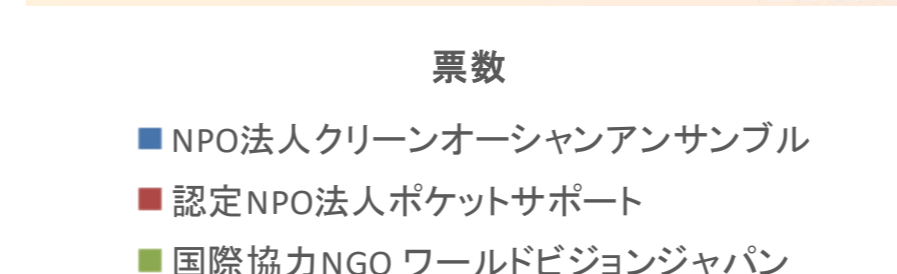
NPO法人クリーンオーシャンアンサンブル 認定NPO法人ポケットサービス

国際協力NGOワールド・ビジョン・ジャパン

投票の流れ

①ISS actcoin projectのページから、第2回Chiritsumoキャンペーンについて確認してください。
②3つの団体から1分から2分の活動紹介動画が流れます。そちらを視聴してください。
③視聴後に、投票フォームからここに寄付をしたい、と思った2団体を投票してください。
④投票数が一番多かったソーシャルセクターに¥20,000の寄付、他2団体に各¥10,000を寄付します。

あなたも投票でSAしませんか？
特設ページはこちらのQRコードから！



Thank you!

投票結果発表の場、皆様からいただいた声や感想を拝見し、心から感謝いたします。今回の活動を通じて、多くの方々が社会貢献活動に関心を持ち、投票に参加してくださいました。ご声援ありがとうございました。

第2回Chiritsumoでは第1回同様で行なった。今回は40万コイン、つまり4万円相当のコインを生徒全体で団体に寄付ができることになった。3つの団体を挙げて、生徒の投票で一番多かった団体に2万円、その他の2つの団体には1万円ずつ寄付できるといった仕組みを取った。

寄付先を考えるとき、自分達で3つの団体を決めた。1つ目に挙げたのは「NPO法人クリーンオーシャンアンサンブル」という団体だ。プラスチックの海の上映会を行い、そこでコインを配布したこともあり、多くの生徒が海洋問題に対して興味を持っていると思い、海洋系の活動をしているこの団体を候補の一つに入れた。2つ目は「認定NPO法人ポケットサービス」だ。「病気を抱える子どもたちが将来への希望を持ち、自分らしく暮らせる社会にしたい」をビジョンに活動を行なっている団体だ。自分達も子どもでもあることから、身近に感じることができ、寄付したいと思う生徒が多いのではないかと考えた。3つ目の寄付先として「国際協力NGOワールド・ビジョン・ジャパン」を選んだ。日本に留まらず、世界に対して社会貢献活動を行なっているNGO団体だ。TGUISSIには帰国子女や、海外に興味を持った人たちがたくさんいる国際的な学校だ。生徒の中でも国際協力している団体に寄付や支援を送りたいと思っている割合は多いと考え、今回寄付することにした。

結果として一番選んだ人が多かった団体は「認定NPO法人ポケットサービス」となり、この団体に2万円、そのほかの2団体には1万円ずつ寄付することができた。今回の投票に実際参加してもらった生徒の理由は様々だった。

<実際の声>

・日本は海の国であり、海に恩恵を受けていながらも、海洋プラスチック問題などを引き起こしているため早い改善が必要だと思ったから。
(NPO法人クリーンオーシャンアンサンブル)

・当事者であり、専門家である人たちが直接柄に苦しむ子供たちに支援の手を差し伸べられるという点がいいと感じた。当事者の視点からニーズにこたえるために寄付金を使ってくれそうだと感じた。
(認定NPO法人ポケットサービス)

・私達と同じ世代もしくはそれより小さな子供に健康で安心して勉強できるような環境で暮らしていてもらいたいから。
(国際協力NGOワールド・ビジョン・ジャパン)

-今後の活動の展望-

今後私は actcoin PJ メンバーの一人として、中高生が SA 活動について気軽に共有できる環境づくりに取り組んでいきたいと考えている。具体的には、学校の枠を超えた交流会を開催し、これまで自分が行って来た活動や経験を紹介し合うことで、SA 活動の幅をさらに広げていきたい。現在は、新しく加わったメンバーとともに、これまでの活動を振り返りながら、次の企画に向けて話し合いや準備を進めている。多様な価値観やアイデアを持つ新メンバーと協力することで、より多くの中高生にとって参加しやすい SA の形を模索している。actcoin を活用することで、コインが貯まる感覚とともに経験が可視化され、SA 活動へのモチベーションを高めることができると考えている。今後も新メンバーと協力しながら、actcoin をうまく活用し、誰もが一歩を踏み出しやすい SA 環境をつくり上げていきたい。

-その他のSA活動について-

さらに、私たちの中には、学校内の活動にとどまらず、年間を通して外部のボランティアに参加しているメンバーも多い。その経験をもとに、地域への理解を深めるスタディーツアーの企画・運営に関わったメンバーもいる。こうした企画は、これまでのSA活動や、他のボランティア現場で出会った人々の姿勢から影響を受け、「学びを得る側」から「学びの機会を提供する側」へと意識が変化したことを背景としている。また、学校外の団体で活動し、「ありのままに居場所」や「やりたいことを形にするきっかけづくり」に関わった経験をもつメンバーもいる。そうした経験を通して、多様な価値観に触れ、自分や他者の可能性について考える機会を得てきた。これらの活動を通して私たちは、SA活動が中高生にとって自己理解を深め、将来や学校生活をより豊かなものにするきっかけとなると実感している。そして今後は、actcoinチームとして、自らの経験を生かし、より多くの人々がSAに参加できる機会を提案していきたいと考えている。

